

アスパラガスは、種まきをして、その年から収かくが始まり、一度植えると15年から20年くらい収かくできる永年作物です。ハウスで作られたものは、3月の終りから、ろ地じのものは5月から収かくが始まり9月まで続きます。アスパラガスは、太さによって分けられたり、長さをそろえたり、重さをはかったりして、たばねてJA（農協）へ出荷します。



アスパラガスの手入れ

②葉たばこづくり

熱塩加納村では、葉たばこが作られています。耕作面積こうさくや収かく量は少しずつへってきてはいますが、耕作面積が会津管内かんない一だっただこともあります。種類は葉の大きいバーレー種が中心で、3月ごろ共同きょうどうで種まきをします。小さい種のためじょうろで水といっしょにまきます。葉がでてきたら植えかえ（仮植かしよく）します。5月の中ごろまでに大きくなった苗を移植機いしよくきで畑ていしよくに植え（定植）つけます。7月ごろから花をつみ、葉を1まい1まい収かくします。収かくした葉をなわであんでビニールハウスの中に20日～1ヶ月くらい干します（連干れんぼしか幹干みきぼし）。11月ごろよくかんそうした葉をなわからはずし（連ぬきかり）、仮こんぼうかりします。さらによりわけられて、圧あつさく機にかけてこんぼう（本こんぼう）し、会津坂下町あいづばんげの収納場しゅうのうじょうへ出荷します。